

第5回 文化財保存活用地域計画策定協議会（令和3年3月16日）

議事要旨

1 日時：令和3年3月16日（木）13：30

2 場所：市役所 大会議室

3 出席委員 12名、事務局4名

4 議事事項

1 大野市文化財保存活用地域計画について

・変更箇所の報告について

	質疑・指摘事項等
質疑	1章で文化庁作成のパンフレットには「マスタープラン」という文言があるが、本文26行目の「マスタープラン」を削除したのはなぜか。
応答	方針を定めて措置を決めるというアクションプランが最終目標の計画であるため、削除した。
質疑	大野市の文化財保護の根幹になる条例として、図2に「大野市文化財保護条例」入れた方がよいのではないかと。「勘案」「整合性」「連携」等の関係性を入れていただいた方がよりわかりやすいのではないかと。
応答	検討して修正する。
質疑	第2章が全体的に、文章と図の整合性がない状態になっている。掲載サイズが小さく、文字が読めないものもある。一部は拡大図にしてはどうか
応答	調整します。
質疑	地質の文章について、微修正は必要だが良い。図が見つらく、凡例と文章が一致しない。植生についてもまとめる過程で大事なところが食い違っている。動物について、昆虫類は科のみ掲載なのはなぜか。大局が把握できていないのではないかと。レッドデータブックから重要なもののみ掲載し、一覧は巻末に移動させてはどうか。
応答	専門員と相談して決めていきたい。
質疑	災害の部分で、昭和36年には市外の者だが死者があったように思う。
応答	確認し、該当があれば表内に記載する。
質疑	美濃禅定道は市域を通過する、とは何を示しているのか。
応答	美濃禅定道は一ノ峰、二ノ峰を通っている。白山信仰との関わりとして記載した。

質疑	市域というと、市の中心に入っている感じを受けてしまう。「市域を通過」より、一ノ峰等の具体的な場所の名前入れ、誤解がない記述にした方がよい。
応答	修正します。
質疑	近世までの歴史で視点が止まっている。近世・近現代の記述が少ないが、どのように取り上げるつもりなのか。単純に増やすと膨大になるので、どうすべきか文化庁に指導いただきたい。
質疑	戦後史を増やしても良いのでは。
応答	どこまでを計画内の対象に入れると良いか検討する。
質疑	近世では城下町の絵図、現代では航空写真を載せる等して、まちの様子を比較できるようにした方がよいのでは。
応答	図面等の有無を含め確認する。
質疑	第3章2節で指定文化財、3節で未指定文化財を記述しているが、表11の「おおの遺産」や表12の「その他」は、未指定文化財の区分になるのではないか。表のキャプションにもいつ時点か入れてほしい。
応答	おおの遺産は未指定なので、文章や場所を修正する。キャプションは追加する。
質疑	表に文化財の種別も入れた方が分かりやすい。
応答	追加する。
質疑	表13で西谷地区の文化財として特定できるものがあるならば、その他として追加するのではなく、西谷地区と全域は分けた方がよい。
応答	調整する。
質疑	第4章1節で現状と課題、2節で方針を記述しているが、課題と方針のつながりについて市民が見てもわかる書き方にしてほしい。文章の内容は良いので、対応するような体裁としてほしい。
応答	課題を3つに分けているので、各対応するように修正する。

・関連文化財群について

	質疑・指摘事項等
質疑	最終的には、保存活用区域を設定すると思われる。保存活用区域に入らない地区もあるのだろう。市街地は保存活用区域に入りそうだが、周辺地域はどの辺りが入ってくることになるのか。関連文化財群も、どのような地区が対象になるか考えたほうがよいのではないか。対象にならない地域があるのは良くないのではないか。
意見	ストーリーが特定の地域に偏るのではないかと、との指摘である。5つのテーマ通じて、全域に配慮したストーリーになればよい。
応答	自然関係は市街地以外が中心に、城下町などの歴史は市街地が中心になると思う。特に和泉地区については、資料が少なく取り上げられるのが難しい

	ものもある。情報集めて整理したい。保存活用区域は、テーマを超えて、もしくはテーマをまたいだものとして設定したい。
質疑	各ストーリーは、現在の体裁で、計画に記載されることになるのか。小見出しがあった方がわかりやすいのではないか。
意見	各ストーリーが、各ページの4分の3程度で整理されるのであれば、小見出しを追加するよりも、記載内容の焦点を絞った方がわかりやすくなるだろう。
応答	調整します。
意見	「主な」構成文化財という記述は、掲載していない文化財についても、保存活用（補助）の対象になるようにするための配慮か。別途で、全ての構成文化財を記載する表があった方がよいかもしい。
意見	面でどのようなストーリーになるか、イメージがわからないため、プロット図が欲しい。今後図と併せて、ストーリーの内容について見ていただき、意見いただいた方がよいのでは。
質疑	ストーリー4の「青葉の笛」の朝日はどこの地名か
応答	大野にある地名である。
質疑	ストーリー4は、p27で記載のある室町時代のことのみが対象か。
応答	鎌倉時代および室町時代、p28の大野の城下町を含め、戦いの歴史として取り扱っている。
質疑	項目の入れ替え等が必要にならないか気になる。地図を作った方が漏れないのではないか。歴史の解説のうち、一部を切り取り、歴史文化の特徴や関連文化財群になるのか。点在していてもストーリーになるものがあるのではないか。文化財の種別を超えてストーリーになるだろう。
応答	大野にとって金森長近は重要なもののため、歴史文化の特徴のうち「②城下町の文化」は、時代で切り取っているが、他の歴史文化は時代に幅を持たせている。
意見	ストーリー5で大野城は江戸時代に焼失したということだが、再建した写真が載っている。この再建についても、ストーリーの最後のあたりに記述した方がよい。復元ではないが、今や多くの大野市民のシンボリック的存在になっているということで、文化的価値をもつだろう。ストーリーの内容について、少し詳しくすぎるとこもあるので、削除し、その分再建の大野城について記述するとよい。
質疑	ストーリー6で銅造阿弥陀如来立像は“銅造”であるが、県指定“彫刻”という分類に入るのか。
応答	指定区分として、彫刻となっている。
意見	白山信仰の記述について、「大野市史によると」という断りはなくていいのではないか。
意見	ストーリー7でおおの遺産のものを追記しているが、おおの遺産の正式名称をそのまま記述するのは違和感がある。ストーリーと構成文化財との対応関

	係がわかりやすいという点では、良いとは思いますが、記述に工夫が必要である。
質疑	ストーリー8で災害の歴史として、大火の発生について記述されている。季節について言及してはどうか。
応答	大火は、主に春に起きている。植物の屋根が多く、江戸時代などは多数発生している。現在は、4月8日に防災・火災訓練をしている。
質疑	ストーリー9で防護擁壁とは、雪囲いのことか。
応答	雪崩防止のものである。雪崩から集落を守るものである。
意見	風によって雪が飛んでくる「あわ」と呼称される雪崩の一種がある。防護擁壁はそれを防ぐ。
意見	「雪蔵」と書いて「つむら」と読ませるか。大野では「つむら」と呼んでいる。
質疑	ストーリー8と9を分けたのは良いが、内容とタイトルが合っていない。整理したほうがよい。
意見	9の中に、暮らしのことが入ってきていることが特に違和感を生んでいる。
応答	暮らしは8に集約させて、9は食に特化させ、それぞれタイトルを変更したい。
意見	ストーリー10で「経ヶ岳が噴火したのは100万年前」であるが、「火災泥流」は100万年前ではないため、誤解のないよう文章を調整してほしい。
意見	ストーリー11で荒島岳と飯降山の記述は分けてほしい。荒島岳はひとつの火山ではない。火山がカルデラとなり、端のカルデラの一番高い部分が、荒島岳になった。
意見	巨大な山があったこと、荒島岳はカルデラの一部だったことがわかるように修正すること。
質疑	「アラレガコ生息地」は天然記念物だが、アラレガコは絶滅している。「九頭竜川はアラレガコ生息地として」だけなら、正確な文章である。代わりに、清流のシンボル梅花藻を載せてもよいのではないか。
意見	本当に絶滅しているのか。地域で活動などもあるため、絶滅していないはずだ。
応答	どこまで記載するか、検討する。